

辻 信一 2025.06.21
(株)環境緑地設計研究所

1. 「まちづくり」とは

「まちづくり」と「都市計画」は地域を対象としたよく似た言葉ですが、比較対照して記せば、

まちづくり：地域における、市民による、自律的継続的な、環境改善運動 都市計画：国家における、政府による、統一的継続的な、環境形成制度

となります。

この場合、もう少し限定的に言えば「市民まちづくり」とするべきでしょう。そして、「制度（法律）」はどのようにつくられるか、ではなくて、どのように使われるか、が問題です。それは、「技術」でも「社会」でも、もちろん「計画」でもそうで、どのように使うかというプロセス・運動が重要となります。

(小林郁雄：「都市計画とまちづくりがわかる本」第二版・彰国社／2017 より)

2. 神戸市での「まちづくり」(まちづくり条例より)

まちづくり協議会(第2章)

- まちづくり協議会は、まちづくり提案の策定やまちづくり協定の締結等を目指して、地区の住み良いまちづくりを推進するために地区の住民等(居住者・事業者・土地又は家屋の所有者等)により結成される協議会です。
- 「まちづくり条例」においては、次の各項目に該当する団体をまちづくり協議会として認定することができます。
- 地区の住民の大多数により設置されていると認められるもの
- その構成員が住民等(地区内の居住者、事業者及び土地または家屋の所有者)、まちづくりについて学識経験を有する者その他これらに準ずるものであること
- その活動が、地区の住民等の大多数の支持を得ていると認められるもの

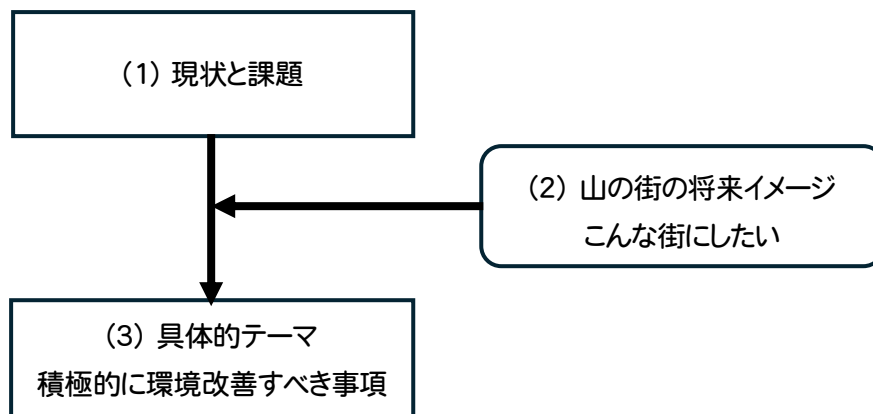
まちづくり提案(第3章)

- 市の認定を受けたまちづくり協議会は、住み良いまちづくりを推進するため、住民等の総意を反映して、地区のまちづくりの構想の提案を「まちづくり提案」として策定し、市長に提出することができます。
- 市は、「まちづくり提案」を受けると、住み良いまちづくりを推進するための施策の策定や実施にあたり、「まちづくり提案」の内容に配慮するように努めなければなりません。

3. まちづくり構想

まちづくり協議会が地域の総意を得て表明する、地域が目指す環境改善のための目標。

4. 山の街・まちづくり構想の組み立て



(1)現状と課題(ワークショップの意見から)

①現状認識

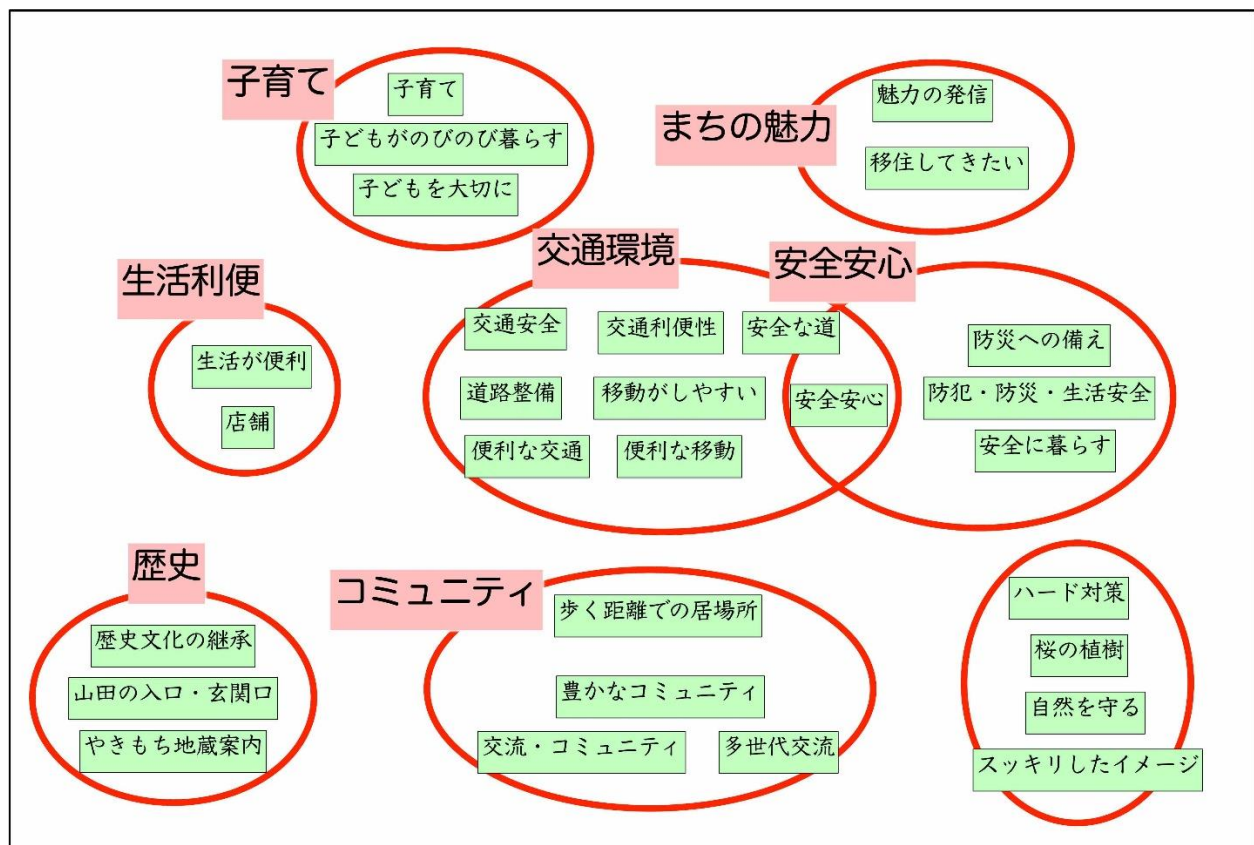
- 山の街は、1935年に神戸電鉄が「やきもち地蔵」をきっかけに山の街駅を開設し、1960年代から宅地開発が進められ、1977年には甲緑小学校が開校した歴史がある。
- 都心に近く、周辺に豊かな自然がある良さがある。
- 住民は「生活に便利なまち」を強く望んでおり、かつて存在した市場やミニスーパーがなくなり、不便さを感じている。
- 地域住民間の交流が希薄になっている側面も指摘されており、世代間や新旧住民の交流や情報共有の難しさがある。

②課題抽出

- **生活利便性の向上**：駅前にコンビニエンスストア、スーパーマーケット、パン屋、飲食店、カフェなどの日常生活の利便性が高い商業施設が不足している。
- **交通・移動の不便改善**：坂道が多く高齢化に伴い移動が困難な人が増え、コミュニティバスなどの移動を補助する施策の検討が必要である。
- **安全・安心の確保**：駅前の交番や防犯カメラの設置、暗い場所の整備、道路の安全性（ガタガタ道の改善、歩道の確保等）の向上、治安面の懸念への対応が求められている。
- **防災対策の偏り解消**：避難所の場所が地域的に偏っており、電気や水が止まった際の対策、地震への備えが懸念されている。
- **コミュニティの希薄化改善**：地域コミュニティの拠点となる場所が不足しており、多世代交流や情報共有が難しい状況である。
- **人口減少対策**：外からの移住者を増やす必要がある。
- **子育て環境の形成**：子育てしやすいまち、安全で伸び伸び遊べる空間、広い公園の整備が必要である。
- **歴史・文化の継承と魅力発信**：やきもち地蔵などの歴史や文化を気軽に知れる拠点や、地域の魅力を発信する取り組みが求められている。
- **景観整備**：道路や造成地の斜面の整備において、景観を考慮した緑化（桜の植樹など）の必要性が挙げられている。

(2) 山の街の将来イメージ～こんな街にしたい

①ワークショップで出された大切にしたいこと(環境改善意見)



②山の街のまちづくりの目標キャッチフレーズ例

- 自然に寄り添い、想いをつなぎ、未来を育むまち
- 暮らしを守り、人をつなぎ、まちを育てる
- ゆたかな自然、やさしい暮らし、みんなで創る未来のまち
- このまちで育ち、このまちと歩き、このまちをつなぐまち
- 住む人にやさしく、訪れる人に温かく、誰にでも開かれたまち
- 懐かしさに出会い、にぎわいを感じ、未来へと続くまち
- 住んでよかった 育ててよかった これからも山の街で
- 山々を望む ところ豊かな やさしい街
- 豊かなコミュニティがはぐくむ、生活に便利で安心・安全な山の街

(3)具体的テーマ

山の街の地域課題を解決し、豊かな未来を実現するために検討・取り組む事項案。

1. 山の街らしい安全な駅前づくり

(1) 安全な駅前づくり

- クランク道路の改良
- 乗降スペースの確保
- 踏切の改良

(2) 山の街駅駅の改良

- 駅舎の改築
- 下りホーム改札の新設
- バスロータリー側に駅前広場の整備

(3) 駅前交番所の早期整備

(4) 駅～郵便局間の歩道整備

(5) 下り線側道路の狭い箇所の改善

2. 山の街らしい賑わいと生活に便利なまちづくり

(1) 駅前の賑わいづくり

- コンビニや日常生活に必要な店舗等
- 生活に便利な施設の誘致

(2) 坂の町での移動補助

- 地域コミュニティバスの運行
- 山の街駅・医療施設・神戸北町の商業施設などへのアクセス

3. 地域コミュニティの活性化と子どもの声が聞こえるまちづくり

(1) 多世代が交流できる気軽に集える場の整備

(2) 子どもの居場所づくり

- 安全で伸び伸び遊べる空間・広場づくり

(3) 子育てしやすいまちづくり

- 子育て世代が気軽に集まれる「場」づくり

4. その他

(1) 空地・空家対策

(2) やきもちじぞうをシンボルとした活動